

食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

○その他—その他

欧州食品安全機関(EFSA)、新興(emerging)リスクに係る利害関係者協議会の活動に関する2015年の報告書を公表

公表日：2016年2月26日 情報源：欧州食品安全機関(EFSA)

http://www.efsa.europa.eu/sites/default/files/scientific_output/files/main_documents/1003e.pdf

欧州食品安全機関(EFSA)は2月26日、「新興リスクに係る利害関係者協議会(Stakeholder Consultative Group on Emerging Risks)」の2015年活動報告書(2016年2月24日承認、20ページ)を公表した。概要は以下のとおり。

1. 本協議会は2010年の設置以来、新興リスクに関するデータ及び情報の交換、新興リスクに関する情報交換を目的として、公開性及び透明性を確保して活動している。
2. 本協議会は、EFSAの「科学委員会及び新興リスクユニット」が作成した標準的な概要文書を用いて、合計10件の潜在的な新興リスクについて議論した。これら10件の課題のうち4件は本協議会のメンバーから、5件はEFSAの新興リスク情報交換連絡会(Emerging Risks Exchange Network: EREN)から、そして1件はEFSAから提出された。
3. 10件の課題は、関係者に関わりがあるとして、メンバー国がデータを求めているものや関心を持ったものである。
4. 分野は植物衛生、アレルギー、かび毒類、化学汚染物質及び動物福祉にわたっていた。
本協議会が2015年度に議論対象とした10件の課題は以下のとおり。

1. StaCG-ERから出された課題

- | |
|--------------------------------|
| 1. ピアス病菌と呼ばれるキシレラ属菌(植物衛生・防疫関連) |
| 2. アレルギー対応指針がないことによるリスク |
| 3. 死後病変と豚の有機生産システム(動物福祉関連) |
| 4. ビフェニル、アントラキノン、2-フェニルフェノール |

2. EFSAから出された課題

- | |
|-------------------------|
| 5. 海藻(sea weed)利用によるリスク |
|-------------------------|

3. ERENから出された課題

- | |
|---------------------------------------|
| 6. 腸に及ぼす乳化剤の長期影響 |
| 7. 2014年イタリアでのデオキシニバレノールとゼアラレノンの増加 |
| 8. 生のビートルート(raw beetroot)摂取によるアウトブレイク |
| 9. ビターアプリコット仁とビターアーモンドの摂取 |
| 10. パーフルオロアルキルスルホン酸(PFAS)の代替フッ化合物 |

○関連情報（海外）

・欧州食品安全機関(EFSA)

1) 「新興リスク情報交換連絡会の 2014 年次報告書を公表」(2015 年 7 月 9 日公表)

http://www.efsa.europa.eu/sites/default/files/scientific_output/files/main_documents/839e.pdf

2) 「新興リスクに係る 2014 年の EFSA の活動に関する技術的報告書を公表」(2015 年 7 月 10 日公表)

<http://www.efsa.europa.eu/en/supporting/doc/838e.pdf>

○関連情報（国内）

・食品安全委員会 「平成27年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補に関する企画等専門調査会における審議結果について」

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/attachedFile/download?retrievalId=kai20160216fsc&fileId=622>

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム (<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>) をご覧下さい。